

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 いわて未来環境住宅

グループの名称 いわてゼロエネ住宅会

直近採択グループ番号 06-0498-0049

(グループ代表者)

代表者名 千葉 利一 代表者印  
代表者所属先 花住ホーム株式会社  
代表者所在地 岩手県花巻市材木町  
代表者電話番号 0198-22-3940

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社坂田建材  
事務局担当者名 小野 博昭 印  
事務局郵便番号 025-0311  
事務局所在地 岩手県花巻市卸町16番地  
事務局電話番号 0198-26-4300  
事務局FAX 0198-26-4650  
事務局担当者E-mail ono@sakatakenzai.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m <sup>2</sup>				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	0		m <sup>2</sup>	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	抽選による配分								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて未来環境住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いわてゼロエネ住宅会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0498-0049	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	対象地域は寒冷地の為、断熱性能と凍害対策を重視し断熱性能に置いては平成28年度基準以上の性能とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	給排水設備に凍結防止措置の設置を実施	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	南部曲屋の伝統を活かし、夏場は自然風を取り込むよう居間は窓を2か所以上設置し通気性確保を行う。	◎
④①～③の背景	山沿い地方は積雪が多く、平野部は寒さが厳しく夏は暑い内陸性の気候である(最低気温-15℃・最高気温35℃) 気温差が50℃にもなる地域性のため断熱に対する関心が高い。また、夏は自然風を活かして生活する伝統がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	2020年の省エネ基準義務化に対して未経験事業者への支援を行う。団体として活動することで良質な地域型住宅を供給する仕組みを構築していくこと。(定期的な勉強会なども開催する)	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台及び柱の寸法は105mm以上角とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域型住宅の標準仕様を決定し、床材と建具・階段材の絞り込みを行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様を決め、機器メーカーを統一する事で性能資料を合理化している。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカーを統一し共同購入する事でコストを削減、事務局の在庫機能により安定した供給に努めている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材の認証材や統一した省エネ機器などには、ご発注が発生しないよう、地域型発注書を作成する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と流通が主体となった推奨委員会を設置する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 製作・制度・税制改正・補助事業などの情報収集し今後の方向性を検討する。補助金交付申請等の団体窓口 消費者向け、住まいの相談窓口	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: フラット35の設計施工基準に準じた施工を行う。またS基準を目標とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完了検査前に施主と立ち合い確認を行い、見積項目との整合確認を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ機器のメーカー、品番、定価の表示 業界用語を使用せず、消費者(施主)に分かり易い表現をする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域型住宅のパンフレットを作成し配布する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 労務費等の補正や、業務の効率を見直す。	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 能力評価制度の導入を検討している	
③ 社会保険への加入	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ないの理由。団体に実行する事が困難である為。	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 定期的な安全大会の実施。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて未来環境住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわてゼロエネ住宅会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0498-0049	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテナンス基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅は住宅安心保証の「あんしんいえかるて」にデータ登録	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 指定点検時期における点検実施と点検結果を保管する事で情報の共有が出来る。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅安心保証の「あんしんいえかるて」を利用する事で所有者、修理業者は確認できる	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の維持管理計画書を高度省エネ住宅にも適用する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修・点検時は写真撮影を行い、関係書類と共に履歴情報に蓄積する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報の共通IDで所有者と施工者が確認できる。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住いの管理手帳(住宅金融普及協会)を配布し日常の維持方法をお知らせする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が消費者(施主)向けの相談会を開催する	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 推進委員会で維持管理方法を協議し、有効と判断されたものは共通ルールとする。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な会報誌。勉強会の開催。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がバックアップする施工業者の斡旋を行う。バックアップ体制をパンフレットに記載する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム瑕疵保険の説明を交えながらの勉強会を年2回開催	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局が消費者(施主様)向けの相談窓口を開設する。		

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象物件を活用し、未経験事業者に向けた現場実践講習を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 性能評価機関が発行する適合証又はBELS認証を取得する。	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 交付申請時に事務局が適合証を確認する。
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2年後半数の施工構成員が経験事業者となり、4年後は全ての施工構成員が経験事業者となる	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専門職にとらわれず、多能工的な技術研修の企画	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 50	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 50	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全員受講を目標に参加リストを作成して管理する。講習開催予定を周知する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて未来環境住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわてゼロエネ住宅会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0498-0049	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		
a	地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台:合法木材証明制度(国内・国外)、及びいわて岩手県産材認定制度(岩手県) 柱:合法木材証明制度(国内・国外)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)及び岩手県産材認定制度(岩手県) 桁:合法木材証明制度(国内・国外)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)及び岩手県産材認定制度(岩手県) 構造材(土台、柱、梁、桁)で地域材50%以上使用
①	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
②	標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
③	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>※上記の図は、代表材として記載し、例示に過ぎない場合があります。 ※図中の記載は、実際とは異なる場合があります。図中の記載は、あくまで参考として記載し、必要とされる事項の記載は必ず行ってください。 ※この図、図中の記載は、あくまで参考として記載し、必要とされる事項の記載は必ず行ってください。</p>
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 自然風を利用した夏期の厚さ対策を取り入れた設計を行う。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の景観規定に従う。
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	被災地に生産された材料を使用する。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>いわて未来環境住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>岩手県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>いわてゼロエネ住宅会</b>	(結成年) <b>2015年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0498-0049</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

**認定低炭素住宅**

- ・基準一次消費エネルギーのマイナス10%以上
- ・性能評価機関による、適合証取得

**ゼロエネルギー住宅**

・一次消費エネルギー削減率(R)	101.0%	} 2地域
・一次消費エネルギー削減率(R <sub>0</sub> )	24.1%	
・一次消費エネルギー削減率(R)	109.1%	} 3地域
・一次消費エネルギー削減率(R <sub>0</sub> )	23.9%	
・一次消費エネルギー削減率(R)	116.8%	} 4地域
・一次消費エネルギー削減率(R <sub>0</sub> )	24.6%	

・太陽光発電部分を除いても、  
認定低炭素レベル以上の省エネ性能を保持

**共通の特徴**

- 小屋根換気
- 給水管凍結防止措置
- 自然風の取入れ
- 住宅履歴情報に登録し、告知機能を付ける

- ・LED照明を全ての居室に使用
    - 2地域 ・LDK 多灯分散照明方式採用 ・LDK調光採用 ・LDK以外 調光採用 ・非居室人感センサー採用
    - 3・4地域 ・LDK調光採用 ・LDK以外 調光採用
  - ・高効率エアコンの使用
  - ・高効率給湯器の使用
  - ・高断熱浴槽を使用
  - ・高性能断熱材の使用
 

2地域	天井:アクリアマト14K 155mm×2重(総厚310mm)	・外壁:カネライトフォームEX16K 50mmKITOTETUパネル仕様	・床:ネオフォーム90mm	・基礎:スタイロース50mm
3地域	天井:フローイング18K 300mm厚	・ " " " " " "	・ " " 80mm	・ " " "
4地域	天井:フローイング18K 210mm厚	・ " " " " " "	・ " " 50mm	・ " " "
- ※「また、UA値2地域0.3以下、3地域0.4以下、4地域0.5以下とする。」

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。